令和６年

夏の交通安全市民運動

実施要綱

令和６年７月１１日(木)～７月２０日(土)

夏本番を迎え、行楽などで自動車を運転する機会が増えるほか、暑さやレジャーの疲れから運転者の注意力が散漫になりがちです。また、通勤・通学や配達を目的とする自転車利用のニーズが高まっているほか、屋外で遊ぶこどもたちや夕涼みなどで外出する高齢者も増えるため、交通事故の発生が心配されます。

さらに、夏特有の解放感から飲酒の機会も増え、飲酒運転による交通事故の発生も懸念されます。

そこで、夏の交通安全市民運動を下記の運動重点により展開し、交通事故の防止を図ります。

《 運動重点 》

○ こどもと高齢者を始めとする歩行者の安全確保と交通ルールの遵守
○ 運転者の安全運転意識の向上及び飲酒運転等の根絶
○ 自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守

歩行者優先は
車が守るべき 責任です！
運転者には横断歩道手前での
原則義務や停止義務があります。

主唱　安城市交通安全推進協議会

～ 期間中の主なキャンペーン ～

◆ 7月１１日（木）午後4時から

交通事故なく素麺（そうめん）キャンペーン（桜町交差点にて）

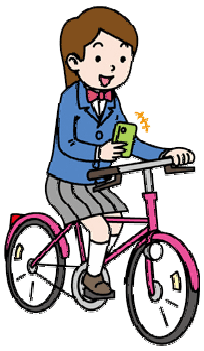
安城特産品のそうめんを配布しながら、交通安全を呼びかけます。

ハンドアップ運動

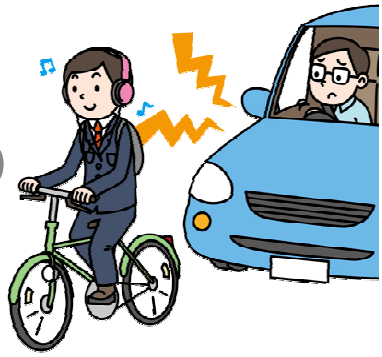
●歩行者は、左右の安全確認をし、手を挙げるなどドライバーに横断する意思を明確に伝えてから横断する。特に子どもは、横断中もドライバーから目立つよう手を挙げて横断する。

●歩行者は、車が止まっても左右の安全確認をしてから渡り、横断途中も他の車が来ていないか注意する。

●歩行者は、停止したドライバーに会釈するなど感謝を伝える。



イヤホンが危険を知らせる音を消す



実践しよう　交通安全スリーＳ運動

● Stop（ストップ）
- 赤信号は確実にストップ、一時停止場所では自転車もストップ
- 横断歩道や交差点では歩行者優先
- 飲酒運転の根絶

● Slow（スロー）
- 子どもや高齢者を見かけたらスローな運転
- 見通しが悪い交差点では徐行

● Smart（スマート）
- 全ての人に対して思いやりをもった運転と、運転中はスマートフォン等を絶対使用しないスマートな運転
- シートベルトの全席着用の徹底
- 急発進や急制動をしない、落ち着いたアクセルの踏み込みなど環境に配慮したスマートな運転